



知っておきたい

松江市名誉市民



名誉市民章

松江市では、市民又は本市において縁故の深い方で、公共の福祉の増進や文化の進展に寄与した方を「松江市名誉市民」とし、その功績を称えています。現在24名の方にこの称号が贈られています。シリーズで1名ずつ紹介していきます。郷土の誇りとして、いつまでも私たちの心に刻んでいきたいですね。

こ わ た き ゅ う え も ん す い げ つ

第4回 木幡久右衛門(吹月)氏 [1901~1983]

(昭和51年5月22日 顕彰)



(松江市勢要覧より)

八東郡宍道村(現松江市宍道町)で生まれる。木幡家の14代久右衛門を襲名。幼名は晋介、号は吹月。昭和3年、早稲田大学卒業後、宍道町長、島根県会議員等で活躍したが、戦後の公職追放と農地解放にあい、松江藩主の本陣宿をつとめた自宅を開放し、風流旅館「八雲本陣」を開業した。母屋は昭和44年「木幡家住宅」として国の重要文化財に指定された。30年、島根新聞社(現山陰中央新報社)社長に就任、また日本新聞協会監事、共同通信社理事などをつとめ、報道を通じて地方文化の開発に貢献した。島根県文化財保護審議会、松江市文化財保護審議会などの会長をつとめ、昭和52年に勲三等瑞宝章を受けた。

尺八愛好家として知られ、自宅に山陰尺八道場を開設し、普及宗古典尺八の普及につとめた。俳句や川柳、席画のほか古美術研究家、エッセイストとしても活躍した。著書に「鬼の念仏」「続鬼の念仏」「続々鬼の念仏」がある。

11/4(日)

これからのイベント紹介

島根図書館開館10周年記念 「ストーリーテリング in しまね」

松江市立図書館の読み聞かせグループによるストーリーテリングを「島根地域文化祭」に合わせて開催します。参加された方には、オリジナル缶バッチをプレゼント!



絵本を使わずに、言葉でのおはなしを届けます。



11/1(木)~12/28(金)

「記念グッズをプレゼント!」

期間中、移動図書館車(BM)にご来館いただいた皆様に、オリジナル缶バッチや「だんだん号」の展開図を差し上げます。

- ◇展開図は、松江市立図書館ホームページからダウンロードもできます。
- ◇BMの巡回日程は、図書館ホームページ・市報松江に掲載しています。



松江市立図書館報
 編集・発行/松江市立中央図書館
 〒690-0017 松江市西津田六丁目5-44
 ☎(0852)27-3220
2018年10月発行
<https://www.lib-citymatsue.jp/>
 E-mail: chuou@lib-citymatsue.jp

松江市立島根図書館開館10周年



セミバス型(3トントラック改造) 排気量4,000cc

移動図書館車運行10周年

内容

- 表紙 松江市立島根図書館・移動図書館車(ブックモービル)
 見開き 祝10周年 行ってみませんか! 海の近くの図書館へ
 届けます! 本のかげはし「だんだん号」が
 裏表紙 郷土の葉 松江市名誉市民シリーズ「木幡久右衛門(吹月)氏」
 これからのイベント紹介

行ってみませんか！

海の近くの図書館へ



届けます！

本のかげはし

「だんだん号」が

松江市立島根図書館

蔵書冊数は
12,082冊 → 23,551冊
(平成20年度末) (平成29年度末)

松江市立図書館の地域館として、平成20年6月1日、島根公民館との複合施設として、日本海に面した島根町の加賀地区にオープンしました。

開館以来、島根公民館との共催で様々な行事を開催してきました。「たなばた会」や「クリスマス会」では、地区のボランティアさんを中心とした人形劇やハンドベル演奏、にんじゃたいけん、バルーンショーなどバラエティに富んだ企画を実施してきました。その他にも、島根地域文化祭での「ストーリーテリング」や小学校親子会参加の「図書館クイズ」、最近では、「なつやすみ手芸教室」や「工作企画」もあり、友達や家族と一緒に多くの子どもたちが参加してくれて喜ばれています。

開館当初、お母さんの背中にいた赤ちゃんが小学生になり、行事の進行を手伝っている姿をみると、10年という月日を感じます。これからも、地域に生きる図書館をめざしていきたいと思えます。



行事の様子



たなばた会



たなばた会「3Bたいそう」



クリスマス会「バルーンショー」



ふるさと桜縁座(人形劇)

島根図書館及び移動図書館は、地域のみなさまや関係者の方々に支えられ、見守られ、おかげさまで10周年を迎えました。心から感謝申し上げます。

これからも、みなさまに親しまれる魅力ある図書館をめざして努力してまいります。

日本海を眺めドライブを楽しみながら、立ち寄ってみませんか、海の近くの図書館に！気軽に寄ってください、「だんだん号」に！何かとおきの本に出合えるかもしれませんよ！ご来館をお待ちしております。

10周年 記念イベント

「よるの図書館 in しまね」

6月2日、島根図書館開館10周年を記念して、初めての「よるの図書館 in しまね」を開催し多くの方にご来館いただきました。当日は、この10年間の歩みを写真展示で振り返り、缶バッジコーナーや一夜限りの“よる図カフェ”、テラス席の開設など、短い時間でしたが非日常の空間と時間を楽しんでいただきました。



よるの図書館「ブックモービルツアー」

9月14日、「ブックモービルツアー」を開催しました。図書館員の説明を交えながら車両の見学をしていただき、本の貸出も行いました。

ほとんどの方がだんだん号に乗るのは初めてだったようです。日頃遠い地域を巡回しているだんだん号を、身近に感じていただけただけではないでしょうか。



図書館員の説明を聞くみなさん

移動図書館車(Bookmobile)

蔵書冊数は
9,066冊 → 16,565冊
(平成20年度末) (平成29年度末)

平成20年11月1日、月20コース、利用団体73団体から運行を開始しました。通称BM(ビーエム)と呼んでいます。松江市立図書館(中央・島根・東出雲)から遠い地域の公民館や小学校、児童クラブ、幼稚園などの施設に約2,000冊の本をのせて、みなさまに本を届けています。少しずつ利用も増えて、今では、93団体にまでなりました。

「お気に入りの作家の新刊が入りましたよ」、「この本おもしろかったわ」、「〇〇さん、今日はまだ来てないね」と、図書館員と利用者、利用者同士の会話も弾んで、移動図書館はいつも賑やかです。巡回時間前から待っていてくださる方や、「車がないから来てくれてうれしい」と感謝して下さる方々に出会うと、「かけはし」になっていると実感し、嬉しく思います。



通常巡回の様子



島根大学臨時巡回

本のかげはし「だんだん号」 名前の由来を知っていますか？

図書館と地域のみなさまをつなぐ「かけ橋」となり読書の輪が広がること、そして、「だんだん(ありがとう)」という感謝の気持ちを大切にしようという思いが込められています。

移動図書館車の走行距離

だんだん号がこの10年で走った総距離は、**80,104km**。(8月27日現在)
これは地球を2周もしたことになります。

走行距離はのびましたが、図書館と地域のみなさまの距離はどんどん縮まってきたように感じます。月に到達するのは何年後になるのでしょうか。これからもだんだん号は日々走り続けます。

月までの距離 **384,400km**

